



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)
 コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西岡 孝
 (氏名) 佐々木 悟
 TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	2,391	32.5	44		56		33	
29年12月期第3四半期	1,804	9.8	24		20		41	

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 33百万円 (%) 29年12月期第3四半期 40百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	2.89	2.43
29年12月期第3四半期	4.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	3,311	2,855	75.9
29年12月期	2,408	2,033	71.7

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 2,514百万円 29年12月期 1,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		0.00	0.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,218	36.7	292		299		253		21.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	12,383,500 株	29年12月期	10,361,300 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	200 株	29年12月期	200 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	11,673,401 株	29年12月期3Q	10,074,873 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、当第3四半期連結累計期間において供給戸数が前年同期比微増したものの、契約率において、好調の目安である70%を6ヶ月連続で割り込む等（いずれも民間調査機関調べ）厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高2,391百万円（前年同期比32.5%増）、営業利益44百万円（前年同四半期は営業損失24百万円）、経常利益56百万円（前年同四半期は経常損失20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失41百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移しましたが、マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力し、中古マンション市場及び外注営業が結果を出し、売上においては、順調に推移いたしましたが、外注費や販売促進費の増加により、利益面においては、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高780百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益124百万円（同9.9%減）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、新規取引先の獲得等で、売上は伸ばすことが出来ましたが、求人募集費や現場人件費の増額等で、利益に関しては、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高1,011百万円（同2.0%増）、営業利益27百万円（同48.2%減）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、6物件の販売をすることができ、売上・利益ともに想定以上の状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高579百万円（同353.9%増）、営業利益146百万円（前年同四半期は営業損失12百万円）となりました。

④その他

その他に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間におけるその他の業績は、売上高19百万円（同103.9%増）、営業損失41百万円（前年同四半期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,013百万円となり、前連結会計年度末に比べ915百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が165百万円、商品及び製品が115百万円、販売用不動産が977百万円増加したことなどによる一方、仕掛販売用不動産が137百万円、短期貸付金が214百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は298百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。これは主にのれんが7百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ903百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は338百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が34百万円、未払金が21百万円、未払法人税等が26百万円増加したことなどによるものであります。固定負債は117百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主にその他が2百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は456百万円となり、前連結会計年度末に比べ81百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,855百万円となり、前連結会計年度末に比べ821百万円増加いたしました。これは主に資本金が376百万円、資本剰余金が376百万円、新株予約権が34百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益33百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.9%（前連結会計年度末は71.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年8月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	730,211	895,468
受取手形及び売掛金	241,189	269,703
商品及び製品	350	116,300
販売用不動産	295,986	1,273,761
仕掛販売用不動産	178,369	41,186
仕掛品	1,517	1,716
原材料及び貯蔵品	7,899	9,178
前渡金	94,000	—
短期貸付金	461,796	247,000
未収入金	22,350	55,489
未収還付法人税等	9,900	—
繰延税金資産	24,030	28,522
その他	30,449	75,272
流動資産合計	2,098,050	3,013,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	143,231	131,668
減価償却累計額及び減損損失累計額	△82,606	△76,836
建物及び構築物(純額)	60,624	54,831
機械装置及び運搬具	3,428	3,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,854	△2,940
機械装置及び運搬具(純額)	573	487
工具、器具及び備品	7,460	27,968
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,530	△9,518
工具、器具及び備品(純額)	930	18,450
土地	28,296	37,543
リース資産	3,700	3,700
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,898	△3,453
リース資産(純額)	801	246
建設仮勘定	22,572	—
有形固定資産合計	113,799	111,560
無形固定資産		
のれん	95,748	88,122
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	106,152	98,526
投資その他の資産		
投資有価証券	4,026	3,641
出資金	551	581
破産更生債権等	622,127	627,383
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	85,927	83,922
貸倒引当金	△692,185	△697,441
投資その他の資産合計	90,504	88,144
固定資産合計	310,456	298,230
資産合計	2,408,507	3,311,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,217	82,067
未払金	124,121	145,515
未払法人税等	9,003	35,429
預り金	38,420	41,929
賞与引当金	—	2,648
売上値引引当金	393	491
アフターコスト引当金	1,323	1,286
その他	34,451	29,513
流動負債合計	254,930	338,879
固定負債		
長期借入金	109,127	109,127
退職給付に係る負債	8,078	8,675
その他	2,901	—
固定負債合計	120,107	117,803
負債合計	375,038	456,682
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,809,186	2,185,912
資本剰余金	341,539	718,265
利益剰余金	△423,444	△389,743
自己株式	△290	△290
株主資本合計	1,726,991	2,514,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	963	707
その他の包括利益累計額合計	963	707
新株予約権	305,514	340,296
純資産合計	2,033,468	2,855,147
負債純資産合計	2,408,507	3,311,830

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	1,804,522	2,391,287
売上原価	1,109,554	1,555,402
売上総利益	694,967	835,884
販売費及び一般管理費	718,986	791,175
営業利益又は営業損失(△)	△24,019	44,708
営業外収益		
受取利息	11,417	11,504
受取配当金	27	58
その他	482	4,614
営業外収益合計	11,927	16,176
営業外費用		
支払利息	31	13
控除対象外消費税	8,158	3,373
その他	250	752
営業外費用合計	8,440	4,139
経常利益又は経常損失(△)	△20,532	56,746
特別損失		
固定資産除却損	—	619
関係会社株式売却損	26,666	—
特別損失合計	26,666	619
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△47,198	56,127
法人税、住民税及び事業税	9,060	31,430
法人税等調整額	△14,877	△9,004
法人税等合計	△5,817	22,425
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,381	33,701
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,381	33,701

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△41,381	33,701
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	434	△255
その他の包括利益合計	434	△255
四半期包括利益	△40,947	33,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△40,947	33,445
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年1月26日付で、チャイナトラベル1号有限責任事業組合から第三者割当増資の払込みを受けました。また、平成30年1月26日付でチャイナトラベル2号有限責任事業組合に発行した新株予約権の行使がありました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が376,725千円、資本準備金が376,725千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,185,912千円、資本準備金が718,265千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	675,901	991,417	127,704	1,795,024	9,497	1,804,522	—	1,804,522
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	675,901	991,417	127,704	1,795,024	9,497	1,804,522	—	1,804,522
セグメント利益 又は損失(△)	138,074	53,228	△12,332	178,970	△178	178,791	△202,811	△24,019

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△202,811千円には、のれん償却額△4,098千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△198,712千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	780,678	1,011,610	579,628	2,371,917	19,370	2,391,287	—	2,391,287
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	780,678	1,011,610	579,628	2,371,917	19,370	2,391,287	—	2,391,287
セグメント利益 又は損失(△)	124,373	27,577	146,332	298,283	△41,322	256,960	△212,251	44,708

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△212,251千円には、のれん償却額△7,625千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△204,625千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。